

# 代表質問

## 誠信クラブ

質問者  
メンバー  
明光也つよ  
坂本和訓  
井口田てつよ  
角原

新年度における政策  
予算に関する重要ポ  
イントについて

**議員** 新年度に当たつての政策や予算に関しての重要ポイント、特に力を入れてある点について、市長の方針や考え方をたずねる。

**市長** 政策的予算については、予算編成方針の中で政策重点化枠として今後強化すべき領域として位置づけられている事務事業について、予算編成の基本とした。提案された事務事業はすべて事前評価に諮り、事務事業の選択と集中を行い、政策の事業の位置づけを明確にし、限られた財源の中で重点化を図っている。

その結果、平成22年度予算の政策的予算は、総額で約8億1,800万円を計上している。その中でも、特に力を注ぐ事業は、定住促進、市民との協働、教育環境の整備、笠岡湾干拓の有効利用である。

「協働のまちづくり」  
について

**議員** まちづくり協議会設立を進める中で、それぞれの自主組織と市との関係はどうするのか。その権限と財源の保障をどうしようとしているのか。

**市長** まちづくり協議会は、住民主体の組織となる。市の役割としては、各まちづくり協議会に市職員を地域担当職員として配置し、活動資金の補助を行うことで、責任を持って協働によるまちづくりを実施していこうと考えている。

また、活動資金は、各地区が共同的に必要と思われる資金を積算し、協議会ご

とに交付する。それに加え、地域特有の課題解決や地域の特色を生かした地域づくり計画を協議会の中で検討していただき、第三者機関で審査・決定して加算することになっている。

交通問題について

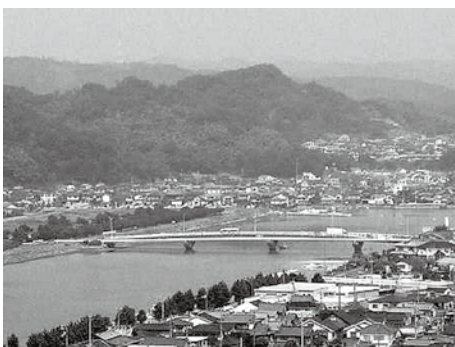
**議員** 干拓地から金崎橋を渡って国道2号線へ出ようとする車は、一日中混雑している。そこで、番町地区から干拓地へ橋を架けるなり、いろいろな角度から検討を進めてはどうか。

**市長** 番町地区と干拓を結ぶ橋だが、交通量の分散を図るとともに、市街地と干拓地を結ぶアクセス道路として、将来的に必要なものであると考えている。しかし、事業費は膨大なものが必要となるので、これからも研究していきたいと思っている。

教育について

**議員** 目先のことにこだわらない大きな考え方をもち、将来を担っていく子どもたちを育てていく必要があると考える。教育長の教育に対する考えをたずねる。

**教育長** 学校の役割として、新しい時代は子どもたちによって創られること、現在の学校教育の日々の実践は未来を創る営みであること、学校は子どもたちがそれぞれ将来自力で未来の自分や社会を考えたり、創り出したりすることのできる基礎的・基本的な態度・能力を育てる役割を担っていることを肝に銘じて、未来を担う重要な人材を育てている、という誇りと気概を持って教育に当たっていきたい。



金崎橋